

# 味噌川ダムだより



## 第71号

2018年9月発行  
独立行政法人 水資源機構味噌川ダム管理所  
〒399-6203 木曽村小木曾 2058-22  
TEL 0264-36-3111

### ◇管理の状況◇



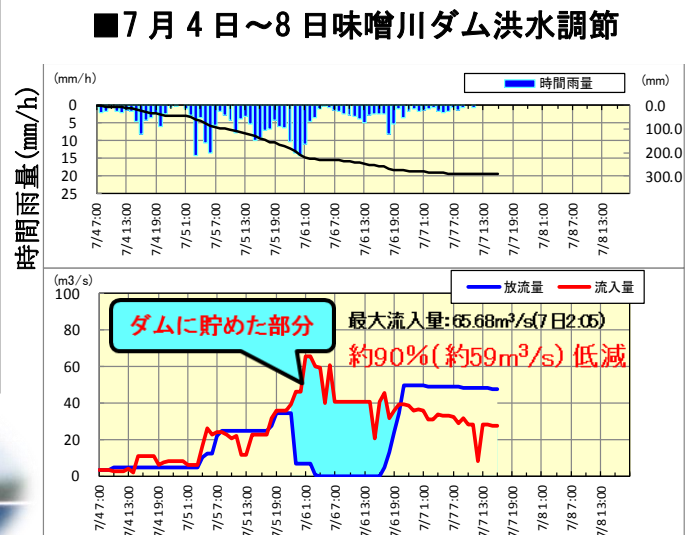
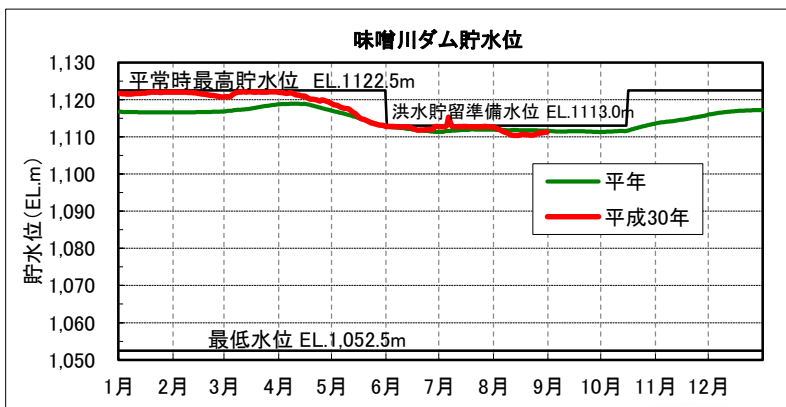
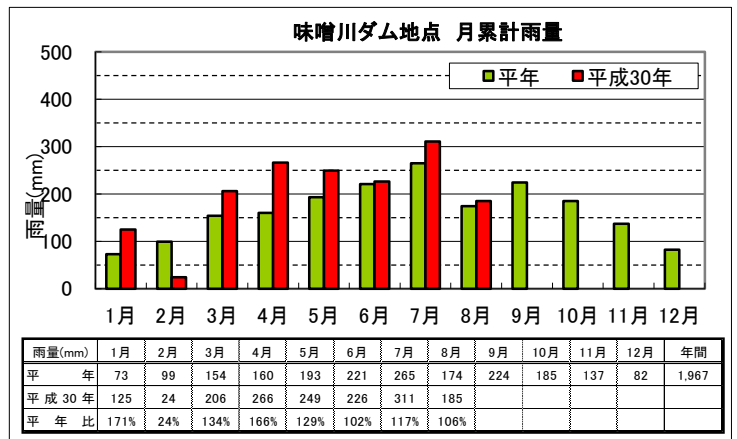
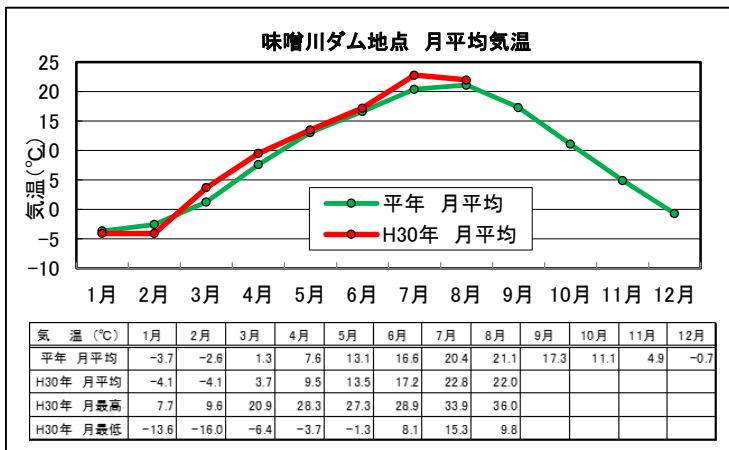
7月4日から8日、前線の停滞による豪雨により、味噌川ダム下流河川の一部において氾濫の恐れが生じたことから、味噌川ダムでは、**ダムの放流を停止し、ダムに流入する水を全て貯留する（ダムからの放流を零とする）特別防災操作**を行いました。この操作により、木曽町福島大手橋地点の河川水位を約25cm低下させることができました。

味噌川ダムでは平成18年7月以来、12年ぶりにダムへの流入量が洪水量（毎秒50立方メートル）を超えました。

一方、7月豪雨後の約1ヶ月間、木曽川流域ではまとまった降雨がなかったため、下流河川の流況が悪化しました。そのため、味噌川ダムでは8月10日に渇水対策本部を設置し、ダムに貯留している水を下流河川へ補給（放流）することで、河川環境の保全に努めました。その後、8月中旬には下流河川の流況が回復したことにより、8月20日に渇水対策本部を解散しました。

ダム貯水位は、9月4日の台風21号の出水を貯留したことで回復しました。

※「下流河川」とは、味噌川ダム下流から伊勢湾までの木曽川を指します。



## 優良工事・業務等及び優秀技術者表彰

味噌川ダム管理所では昨年度に完成・完了した受注工事・業務を対象に、3社を「平成30年度優良業務受注者」、3名の方を「平成30年度優秀技術者」として表彰式を行いました。また永年にわたるダム周辺でのボランティア活動に対して感謝状の贈呈を行いました。



### 【優良業務表彰】

- ・株式会社東設土木コンサルタント
- ・環境設計株式会社
- ・株式会社テクノ中部

### 【優秀技術者表彰】

- ・株式会社東設土木コンサルタント **太田達也氏**
- ・環境設計株式会社 **中野晋氏**
- ・株式会社テクノ中部 **吉田謙氏**

### 【ボランティア活動に対する感謝状】

- ・木曾土建工業株式会社

## 地震防災訓練



遠州灘沖地震(東海、東南海、南海地震連動)の発生を想定した、地震防災訓練を実施しました。地震時に備えて各施設の設備点検や、関係機関との連絡体制を確認しました。

## キャラメル作りの様子



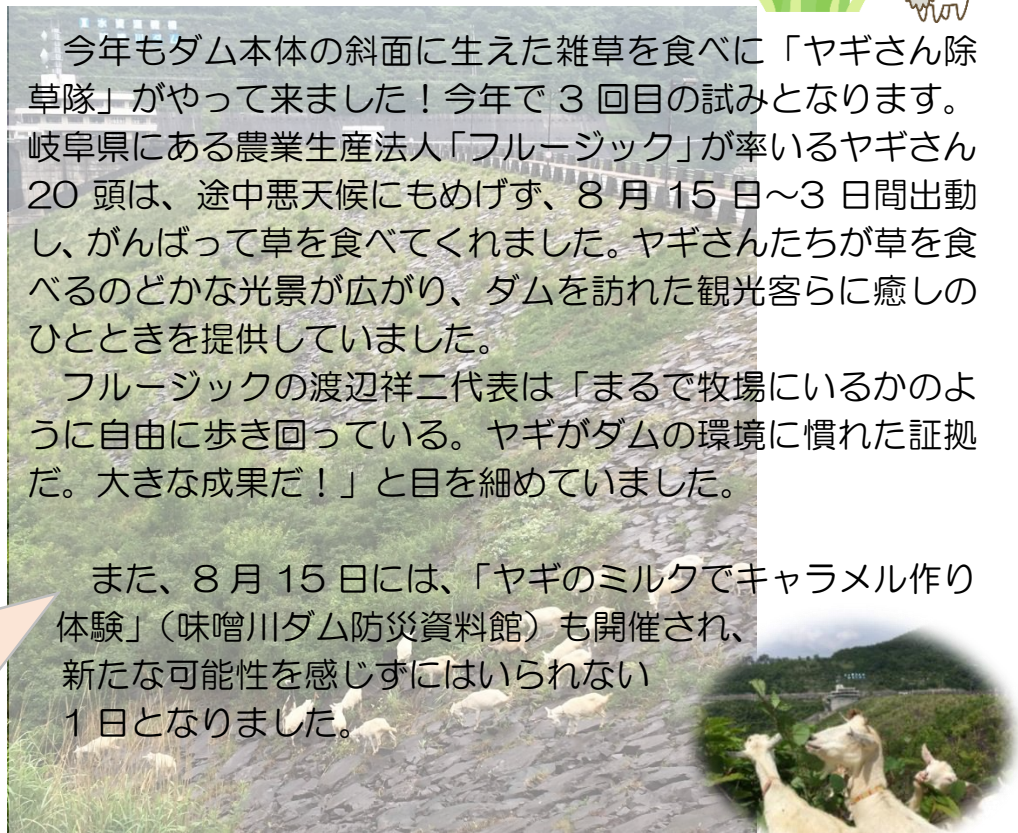
## 味噌川ダムヤギさん除草隊出動!



今年もダム本体の斜面に生えた雑草を食べに「ヤギさん除草隊」がやって来ました!今年で3回目の試みとなります。岐阜県にある農業生産法人「フルージック」が率いるヤギさん20頭は、途中悪天候にもめげず、8月15日~3日間出動し、がんばって草を食べてくれました。ヤギさんたちが草を食べるのどかな光景が広がり、ダムを訪れた観光客らに癒しのひとときを提供していました。

フルージックの渡辺祥二代表は「まるで牧場にいるかのように自由に歩き回っている。ヤギがダムの環境に慣れた証拠だ。大きな成果だ!」と目を細めていました。

また、8月15日には、「ヤギのミルクでキャラメル作り体験」(味噌川ダム防災資料館)も開催され、新たな可能性を感じずにはいられない1日となりました。



## 味噌川ダム「貯蔵酒」蔵出しへ

## 【木祖村×湯川酒造×味噌川ダム】

ダム堤体内に貯蔵していた日本酒1240本が9月21日、ダムから「蔵出し」となりました。ダム堤体内は、年間通して温度が一定。お酒の熟成にはもってこいということで、まろやかな味わいになるそうです。木祖村を流れる木曾川の源流水と、その水で育った木曾郡産のお米で、春にしばった日本酒は、5月にダム堤体内に貯蔵され、そこで約4ヶ月間、この日を待っていました。

この『ダム貯蔵酒』の取組は、地域の特産品開発にかけた木祖村、湯川酒造、and 味噌川ダム3者で実現したもので、好評だった昨年に続き今回で2回目。昨年秋に出荷し、冬を待たずに完売した前回(800本)から440本増の1240本を、この度出荷します。

この味わいをお見逃しなく!



★ご意見等ありましたら当ダムへご連絡ください。

味噌川ダム HP <http://www.misogawa.jp>

E-mail [misogawa@avis.ne.jp](mailto:misogawa@avis.ne.jp)